

2010年

# 第14回南関東テコンド選手権大会

## 大会募集要項



- 主催：神奈川県テコンドー協会  
NPO 特定法人 炫武館
- 協賛：社団法人 全日本テコンドー協会
- 期日：平成22年12月5日（日）  
午前9時開場、10時開始  
午後6時 終了予定
- 場所：三浦市総合体育館 潮風アリーナ

## 2010年 第14回南関東テコンド選手権大会開催に向けてご協力をお願い

「2010年 第14回南関東テコンド選手権大会」を開催するにあたり、ご挨拶申し上げます。

今年も一年の締めくくりとして、本大会を三浦市総合体育館・潮風アリーナにて開催致します。

本大会は今回で14回目の開催となり毎年、有望な選手が輩出しております。

こうして大会を積み重ねることができるのも、日頃鍛錬に励まれている選手の勤勉さと、それを陰で支えている各支部のご父兄並びに協賛者、そして後援して下さる皆様方の多大なご厚意の賜物と深く感謝申し上げます。

今年のトピックは、7月に韓国・永川市で開催されました『第1回インターナショナルクラブオープンテコンドーチャンピオンシップ2010』に本館の高橋大輔師範が国際審判員として参加。

冷静かつ的確なジャッジができる日本人国際審判員として高い評価を得ました。そして11月に行われるアジア競技大会において、日本オリンピック委員会(JOC)から正式に日本代表審判員として派遣されることが決まり、今後の国際大会での益々の活躍が期待されます。

一方、先日行われたJOCジュニアオリンピック 第3回全日本ジュニアテコンドー選手権大会では3名の優勝者を輩出。優勝まであと一歩という選手もあり、選手諸君の更なる研鑽と飛躍が期待されます。

このように、炫武館にはこれからの日本のテコンドー界を代表する有望な指導者、選手が育っており、今後も益々活躍してくれるものと信じております。そして、これらの有望な選手たちが活躍してゆくためには、テコンドーを応援して下さるより多くの方々のお力が必要です。

14回目を迎える本大会をより多くの方々に見ていただき、テコンドーの素晴らしさと炫武館の成長を実際に観戦して戴き、さらなる皆様方からの支援をお願いすると同時に、選手の皆様はもちろん、ご父兄やご協力戴きます方々におきましても、一人でも多くの廻りの方々に声を掛けて戴き、大会会場へ足を運んで戴けますよう、広報活動へのご協力を御願い致します。

最後に、テコンドー修練者におきましては、日頃の修練の成果を思う存分発揮し、試合によって得ることが出来た経験を、各個人の今後の修練の課題とし、心身共にますます上達し、上位を目指すことを願ってやみません。

平成22年9月吉日  
神奈川県テコンドー協会  
炫武館館長 国際師範

姜 炫 淳

# 大会申込要項

## 1. 参加資格

- ① 年齢：幼児から50才までの修練者
- ② 帯色：帯色に制限はないが、修練期間が5ヶ月以上の者
- ③ 各協会および支部に所属し競技ルールを熟知し、本大会要項を遵守できる健康な者。  
国籍は問わない。※過去の全日本クラスの大会で1位になった選手は出場できません。

## 2. 試合形式

- ① ルール：世界テコンドー連盟(WTF)のルールに基づく。
- ② 試合方法：トーナメント方式とする。
- ③ 試合時間：予選-2分2R、ジュニアクラス-1分30秒/2R(インターバル30秒)  
決勝-2分3R、ジュニアクラス-1分30秒/3R(インターバル30秒)  
※会場の都合により試合のラウンド数を変更する場合があります

## 3. 出場階級区分

< 一般男子 >	< 一般女子 >	< ジュニアクラスの部 >
① -54kg 級	① 一般女子A	① 幼児クラス
② -58kg 級	② 一般女子B	② 小学1年生~2年生[A・B・C]
③ -63kg 級	③ 一般女子C	③ 小学3年生~4年生[A・B・C]
④ -68kg 級	④ 一般女子D	④ 小学5年生~6年生[A・B・C]
⑤ -74kg 級	⑤ シニアクラス[A・B]	⑤ 中学生クラス
⑥ -80kg 級		⑥ 高校生クラス
⑦ -87kg 級		
⑧ +87kg 級		
⑨ シニアクラス[A・B]		

※シニアクラス参加資格は

男女ともに35才以上

※全クラス男女別

※ 出場階級区分は出場者数及び技量により変更する場合があります。

## 4. 競技場

競技場は世界テコンドー連盟(WTF)国際規格のセーフティジョイントマットを使用。

## 5. 表彰

各級1位から3位までとし、メダルおよび賞状が授与される。

## 6. 選手の服装

WTFで承認した白の清潔なテコンドー道着とし、各道場のネーミング等は自由とする。ただし、アマチュアスポーツであるため国を代表するかのような“JAPAN”“KOREA”等の大きなネーミングや特定の企業スポンサー名を大きく入れたものの着用は認めない。

## 7. 試合時の選手の装備

各選手は出場2試合前に防具を装着して指定のネクストシートにて待機する。その際に防具装着エリアで防具の検身を受ける。試合終了後にはすみやかに防具を所定の場所に返却する。

■ 《主催者で用意するもの》 ヘッドギア、ボディプロテクター

■ 《各自で用意するもの》 手足と足の甲のプロテクター、股間防具のファウルカップ、マウスピース

※ 3回呼び出した時点で試合の準備が出来ていない者は棄権と見なして失格とする。

## 8. セコンドの服装

特に規定はないが、セコンドらしい品位のある服装とする。(道着以外のものを着用すること)

## 9. 申込方法

- ① 申込期日：平成22年10月31日（日）必着とする。
- ② 申込方法：申込書に写真を貼り、参加費を添えて申し込む。  
申込書及び参加費は所属道場ごとにまとめて収集・徴収し提出して下さい。
- ③ 参加費用：8,000円  
※（社）全日本テコンドー協会への協賛金と参加選手の昼食（弁当）代を含みます。  
※ 神奈川テコンドー協会の諸費用を含みます。※不参加の場合、費用返却はできません。
- ④ 申込先：姜師範自宅 〒232-0063 横浜市南区中里1-13-10-601 045-712-1808（FAX同）  
：炫武館本部 〒231-0047 横浜市中区羽衣町3-76-3 アクセ21ビル1F 045-253-2415（FAX同）

## 10. 大会会場

会場：三浦市総合体育館 潮風アリーナ 三浦市初声町入江169 TEL：046-889-0404  
交通：京浜急行電鉄 三崎口駅 徒歩15分又は横須賀方面行きバスで宮田下車 徒歩1分



## 11. その他注意事項

- ① 大会参加者は必ず「大会出場契約書及び保護者承認書」を提出すること。
- ② 各自入念にウォーミングアップをし、万全の状態ですべての試合に臨むこと。
- ③ 他の選手の試合中は応援を心がけると共に、他の選手の試合内容を見て各自テコンドーの技の参考とするよう努めること。
- ④ 参加選手は事前にセコンドについてもらう者を依頼すること。単独参加者等セコンドがない者は大会委員に申し出ること（セコンドなしでの試合出場は認めません）。
- ⑤ 会場では各自の手荷物は所属道場ごとに一カ所にまとめて他の観客の邪魔にならないようにすること。また、貴重品は各自保管すること。
- ⑥ その他不明点は以下に連絡をお願いいたします。

### 【 大会実行委員会連絡先 】

TEL/FAX：045-712-1808（師範自宅） or 045-253-2415（炫武館本部道場）  
携帯電話：090-2234-1581（姜 炫淳（カン ヒョンスン）師範） / 090-5585-6399（姜師範奥様）

# 第14回南関東テコンド選手権大会申込書

フリガナ

選手氏名： \_\_\_\_\_ 性別 男・女

住 所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

写真貼付け

3.5 cm×4.5 cm  
パスポートサイズ

緊急時連絡先(※)： \_\_\_\_\_ (自宅・実家・その他)

※ 試合当日、緊急時に連絡をとる場合の電話番号として下さい

生年月日(西暦)： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ 才) \_\_\_\_\_ 小・中・高 \_\_\_\_\_ 年生

所属道場： \_\_\_\_\_ 身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg

\_\_\_\_\_ 段・品・級 修練年： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ ヶ月 試合出場経験回数： \_\_\_\_\_ 回

## 大会出場契約書及び保護者承認書

2010年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

神奈川県テコンドー協会 炫武館 館長 殿

私は2010年12月5日に開催される『2010年 第14回南関東テコンド選手権大会』に選手として出場しますが、大会試合中の事故に関してその一切の責任は自己で負い、如何なる賠償をも大会主催者に求めないことを契約いたします。

なお、この契約をもって保護者承認とします。

選手保護者氏名 \_\_\_\_\_ 印

所属団体 \_\_\_\_\_ 責任者氏名 \_\_\_\_\_ 印

※未成年者は保護者サインが必要です ※出場選手には当日のみスポーツ傷害保険がかけられます